

日代地区で行われた天神様の秋祭り 「祭り」を通して地域のコミュニティをつなぐ

お彼岸を迎え、秋の気配がようやく感じられるようになった9月24日の日曜日、日代地区の日見・赤崎・江ノ浦・網代・福良に鎮座する天満神社の秋季例大祭が一斉に行われた。

一般に、「天神様の秋祭り」と呼ばれるこうした祭りは、昔から氏子・崇敬者の安寧（あんねい）（無事でやすらかなこと）と五穀豊穡、豊漁祈願などを願って行われ、春祭りとともにこの日代地区では大切な行事となっている。

そして、この秋祭りが終わると10月、「神無月」と呼ばれるこの月は、全国の八百万の神々が出雲大社（島根県出雲市）へ会議に出かけるため留守をするといわれてきた。

市内では、出雲から神様がお帰りになるのは、11月の「霜月祭り」の頃とされ、その「神迎え」の行事として「ヨドの火焚き」が行われてきた。しかし、いつ出雲に出かけるのかといった「神送り」を伝える行事については、あまり具体的には知られていない。

ただ、江ノ浦では、今から40年前の『津久見市誌』の民俗調査の時、「9月25日の氏神様の祭りに、鳥居から公民館まで200㍍ほどロープを張り、全戸数ほどの丸提灯を下げて、出雲にお立ちになるのを見送る。」という話を聞くことができた。しかし、今回の聞き取り調査では、ここ江ノ浦をはじめ各地区とも参道に提灯は飾っているものの、そうした神送りの話などは聞くことはできなかった。

近年、過疎化、高齢化が深刻になっており、各地区とも参列者が少なくなってきている。それでも、関係者の方々の天神様の大切な行事を守り継ごうとするひたむきな姿を見ることができ、有意義な調査となった。例年通り、天神様の神事が無事終わった後、地区の人たちがそれぞれ集会所に集まり直会が行われるという。こうした「祭り」、世代を超えて、地域のコミュニティをつなぐもののひとつとして大切にしていきたいものである。



日見天満神社



赤崎天満神社



江ノ浦天満神社



網代天満神社



福良天満神社

津久見市二十歳のつどい(旧成人式)について

問 生涯学習課 ☎0972-82-9528

下記のとおり「津久見市二十歳のつどい」を開催します。

【日時】令和6年1月7日(日)10時30分～
(受付9時30分～)

【場所】津久見市民会館

【対象】平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方

◎住民票を市外に移している方は申込をお願いします！

進学・就職、その他の理由で市外に住民票を移しており、津久見市二十歳のつどいに出席を希望される方は、二次元コードまたは津久見市ホームページから申込をしてください。インターネット等からの申込ができない方は、電話でも受け付けます。

※住民票が津久見市にある方の申込は不要です。

◆申込期限 令和5年11月30日(木)

※なお、この日以降も受付をしますが、市報等に氏名が掲載されません。



市外受付



代表者募集！



実行委員募集！

◎「各種代表者」と「実行委員」を募集します！

式典の司会者等の「各種代表者」と、「実行委員」を募集します。思い出に残る二十歳のつどいを、仲間と一緒につくりあげてみませんか？

※「各種代表者」と「実行委員」両方のご応募も可能です。

◆応募資格

令和6年津久見市二十歳のつどいに出席される方

※代表者や実行委員となった方には、1月6日(土)に行うリハーサルへの参加をお願いすることになります。

※津久見市に住民票がなくても応募できます。

※左記二次元コードまたは津久見市ホームページ、電話でお申込みください。

◆「各種代表者」の募集人数 ※先着順

- ①式典の司会者 2名 ②代表答辞 1名
③二十歳の主張 2名 ④記念品贈呈 2名

◆「実行委員」の募集人数

多人数募集します。(制限はありません)

◆「実行委員」の活動内容

主にアトラクション(第2部)の企画や準備、運営などを行います。活動は10月下旬から3～6回程度を予定しています。

※実行委員会は概ね平日の午後7時～9時頃など、参加しやすい時間帯を設定する予定です。なお、Zoomでの参加も可能です。

◆募集期限 令和5年10月20日(金)